

まちのわだい



日ごろの訓練の成果を發揮

消防ポンプ操法大会

第55回鳥取県西部地区消防ポンプ大会が、6月16日米子市流通町の鳥取県消防学校で開催されました。

この大会は、消防団員の技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的に毎年実施されています。

伯耆町からはポンプ車の部に第1分団、小型ポンプの部に第4分団が出場し、熱演が繰り広げられました。結果は、第1分団が6位、第4分団は1位でした。みごと1位に輝いた第4分団は、7月7日に同会場で開催された、鳥取県大会に駒を進めました。県大会の結果は8位に終わりましたが、出場した選手たちは、これからも練習を積み重ね、地域の防災のために役に立ちたいと話していました。



競技に臨む第1分団の選手たち



第4分団による熱のこもった演技

森林保全の大切さを学ぶ

岸本中学校職場体験

職場体験学習の一環として、7月2日から5日まで、岸本中学校の生徒が、林業職場体験をしました。

丸山生産森林組合の指導の下、岸本中学校2年生の7名が、炭焼きや下草刈り、枝打ちを行いました。

最終日には、鳥取大学、鳥取県西部森林組合、鳥取日野森林組合などの関係者も参加し、3mのハシゴの上で、ひのきの枝を切り落とす枝打ちに挑戦しました。「幹に沿って幹に傷を付けないように」などと教わりながら、ていねいに枝を切っていました。

生徒たちは、4日間の林業作業を通して、森林保全の大切さと苦勞を学びました。



薪割り機を使った木材加工作業



枝打ちに挑戦する生徒

日本ダービー優勝馬に感動

大山ヒルズ見学会

伯耆町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で7月6日、施設見学会が開催されました。

大山ヒルズは、平成15年3月にオープンしたノースヒルズグループの競走馬トレーニング施設です。JRAでの出走を目的に、2歳馬の育成調教及び休養馬の調教を行っています。

この日は、施設や調教の様子などが紹介され、馬見せでは、今年東京優駿（日本ダービー）で優勝馬に輝いたキズナなど、5頭の紹介がありました。参加者たちは、普段見ることができない競走馬を前に、「すごい」「かわいい」と感動していました。



調教を受ける競走馬



今年の日本ダービーで優勝したキズナ号

ボランティアに支えられて

第33回全日本トライアスロン皆生大会

7月14日、毎年恒例の鉄人レースが今年も開催され、自転車コースとなっている伯耆町では、95人のボランティアが選手の健闘を支えました。

ボランティアは、大山平原ゴルフクラブ前から丸山集落下の半川別れ交差点まで計12か所のコースポイントと、植田正治写真美術館前に設置されたエイドステーションに分かれ、選手の誘導や飲食物の提供などを行いました。

この日は米子市で最高気温33度を記録する真夏日の中、エイドステーションでは、ボトルに冷たい飲み物を移したり、果物を切り分けたり、体に水をかけたりにして、選手たちの熱走を支えました。



補給用ボトルにドリンクを注ぎ本番に備えるボランティア



選手に食べ物を渡すボランティア